

入札説明書等に関する質問回答書

< 別添資料3 施設設計要求書 >

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答	
69	2	第1	5		建物改修基本計画	補強の対象範囲は上部構造と考え、補強による重量増で基礎への影響が懸念される場合は、基礎の検討をするということにてよろしいでしょうか。	基礎への影響の懸念の有無に関係なく、安全性の再確認の観点からご検討をお願いします。	
70	4	第2	2		適用法令	指導課との協議により、ハートビル法を適用した場合にEVの転用が不可であると判断され新規に購入する場合は、別途費用と考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。	EVIは、本事業において新規に設置してください。	
71	4	第2	3		適用基準等	適用基準の優先順位をご指示下さい。	～のうち「官庁施設の総合耐震計画基準」以外の基準を最優先して下さい。	
72	4	第2	3		適用基準等	学校建築構造設計指針・同解説に示されている積載荷重と耐震診断にて検討している積載荷重が異なります。 指針 研究室 床用:400 架構用:210 地震用:110 (kg/m ²) 実験室 床用:400 架構用:270 地震用:160 (kg/m ²) 診断 研究室 床用:300 架構用:180 地震用:80 (kg/m ²) 実験室 床用:500 架構用:400 地震用:250 (kg/m ²) 耐震診断の積載荷重を正として宜しいでしょうか。	診断に用いる積載荷重は特記がない場合は「学校建築構造設計指針・同解説」に示す値を用いることとします。	
73	4	第2	3		適用基準等	学校建築構造設計指針・同解説では、設計外力を25%割増すとありますが、本件は耐震診断であり、建物重量の割増は考慮しないということにて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。	
74	5	第2	5	(1)	事業スケジュールについて	事業スケジュールについて の添付資料6とは3/31公表の実施方針事業スケジュール(案)をさしていると考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。	
75	6	第2	5	(4)	主要構造部の現況調査及び主要構造部補修工事について	主要構造部補修工事について の2)参考補修(補強)設計数量を超えた部分の補修(補強)に係る費用については大学側が負担する。と オ)参考補修(補強)設計数量を超える部分の補修(補強)に係る費用については協議を行う。とくいちがった表現になっています。大学負担と考えてよろしいでしょうか。	参考補修(補強)設計数量を超えた部分については、協議を行ったうえで大学負担と考えております。	
76	6	第2	5	(4)	4)	主要構造部の現況調査及び主要構造部補修工事について	非耐力壁のRC壁を改修後に間仕切り壁として使用する場合は、事業者が補修(補強)を行うとありますが、この数量は現在想定出来ません。費用は大学側の負担としていただくか、現状の各壁のひび割れ状況をご指示下さい。	大学は非耐力壁のRC壁は撤去を考慮しておりますが、事業者の提案によっては既設RC壁を使用するケースもあるかと思ひ、その場合は事業者負担で補修(補強)を行っていただくことを示しております。提案によって補修(補強)数量も変わりますので公開資料により事業者にて想定願います。
77	6	第2	5	(4)	主要構造部の現況調査及び主要構造部補修工事について	1)～4)に記載されている『補修(補強)』の補強とは、何を意味するのでしょうか。ひび割れ等の損傷が著しく、補修では構造的な回復(コンクリート・鉄筋が健全な状態の構造的な回復)が困難な場合に、補強を行うということでしょうか。	ご理解のとおりです。	

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答	
78	7	第2	6	(1)	周辺インフラ整備状況	上水道(市水)の供給圧力は 前回の質疑回答書では 4Kでしたが 建物引き込み位置での値と考えてよろしいですか、また 4Kとは 4 kg/cm ² と判断しましたが 各建物への想定供給量とともに ご教示ください。	前段は、ご理解のとおりです。4Kは4kg/cm ² を示します。 後段の各建物への供給量は、資料3「諸室仕様表」、資料4「備品計画表」及び既設建物設計図より想定してください。	
79	7	第2	6	(2)	周辺インフラ整備状況	上水道(井水)の供給圧力は 前回の質疑回答書では 3Kから5Kでしたが 建物引き込み位置での値と考えてよろしいですか、各建物への想定供給量とともに ご教示ください。	前段は、黒髪南地区自家給水設備室での供給圧です。 後段の各建物への供給量は、資料3「諸室仕様表」、資料4「備品計画表」及び既設建物設計図より想定してください。	
80	8	第2	6	(3)	周辺インフラ整備状況	検水槽の詳細仕様が不明です、水槽容量算定根拠も含めて ご教示ください。	材料(構造)は問いません。容量につきましては、資料3「諸室仕様表」により想定してください。	
81	8	第2	6	(7) (8) (9)	周辺インフラ整備状況	「配管配線の引替え工事あり」とされておりますが、図面2-1,2-2の一覧表では配線と「ラック上」と配線方法が記されております。これより、共同溝部分のラックは既存使用と考えてよろしいでしょうか。配管のやり直しはどの程度発生すると考えておけばよろしいでしょうか。配線は計画図に示されたものに引き替えるという考え方でよろしいでしょうか。	共同溝部分のラックについては既存施設使用とし、建物内の床下ビットについてはラックの取設を考えています。 工学部1号館から2号館への引き込みは共同溝がないため露出配管又は屋外ラックの施工を考えています。また、工学部1号館から工学部研究資料館の引き込みは共同溝がないため、屋外は地中埋設配管配線工事、工学部研究資料館内は配管配線工事が発生します。その他については、配管のやり直しは発生しないものと考えております。 ご理解のとおりですが、よりよい提案があれば提示願います。	
82	9	第2	6	(10)	防災	防災設備に関して今回工事範囲外の校舎棟からの受信機信号を工学部1号館に配線するような記載がされていますが、今回工事範囲外と考えますが宜しいでしょうか。また、今回工事範囲内になる場合は配線工事のために発生すると思われる天井、壁、床等の改修範囲をご教示ください。	前段については、工事範囲外の校舎棟から工学部1号館に受信機信号を配線する工事は本事業に含まれます。 後段については、工事範囲外の配線工事は、共同溝・地下ビット及びEPS内を配線し既設受信機までの工事となるため天井、壁の改修はありません。ただし、床スラブの貫通が発生します。	
83	9	第3			撤去・処分等	の「原則とする」とありますが、どのような場合に撤去しないのでしょうか。	「建具類はすべて撤去・処分する。」に変更します。	
84	9	第3			撤去・処分等	床の不陸が激しいところは、下地共撤去・処分の上、レベル調整とありますが、その範囲をご指示下さい。	各棟、OAFフロア及び床かさ上げを除く床面積の10%を想定しております。範囲については協議といたします。	
85	9	第3			撤去・処分等	撤去・処分等の 陶器製流し台(洗面化粧台を含む)は 別紙 既存備品等撤去処分一覧表 に記載されていません。記載されてませんが含むということでしょうか。その場合、仕様、箇所数をご指示ください。また、その他にも 既存備品等撤去処分一覧表 に記載されていないものがあればご指示ください。記載されたもの以外は範囲外と考えます。よろしいでしょうか。	陶器製流し台(洗面化粧台を含む)の撤去・処分は本事業に含まれます。仕様、箇所数については有料にて購入して頂きました関連資料の設計図面により判断をお願いします。その他、床・壁・天井に固定されているもの(黒板、造り付け棚等)も、撤去・処分の対象に含まれます。	
86	9	第3			撤去・処分等	照明、変電設備等の処分において、PCB使用、混入製品があった場合、これらの廃棄は困難あるいは不可能と考えられます。これらについては、構内のしかるべき保管場所に保管いただくという考え方でよろしいでしょうか。	容器に入れ、構内指示箇所に保管して下さい。	
87	10	第4	1	(1)	4)	水廻り計画	各男女別の便所内に車椅子利用者利用を考慮した設計とすることと記載されていますが、電気設備において非常呼び出し設備については記載されておりませんが、今回は設置しない計画としますが宜しいでしょうか。	非常呼び出し設備を設置して下さい。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
88	10	第4	1	(1)	4)	水廻り計画 水廻り計画の車椅子使用者の利用を考慮した設計とは1階に車椅子用男女兼用便所を設置し、各階には男女別便所内の便房の内1箇所が車椅子利用可能な便房とする計画でよろしいでしょうか。	各階とも男女別便所内の便房のうち、1箇所を車椅子利用可能な便房として下さい。
89	10	第4	1	(1)	4)	水廻り計画 「便所の床は乾式とし、耐水機能を持たせ漏水のないように計画する」とあるが、耐水機能とは、長尺塩ビシート溶着工法程度と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
90	10	第4	1	(1)	5)	外観計画 (維持管理を考慮することを含め、)外観は「熊本大学キャンパス内」の施設としてふさわしい計画に対する、基本的方針のようなものはあるでしょうか。	外観配色は、歴史あるいは伝統との連続性をあわすため、明治時代の煉瓦建築から発展させた茶系でまとめています。最近の新営建物の外部仕上げは、過去・現在・未来に対応した三層構成を基本としています。
91	11	第4	1	(1)	6)	設計水準 - その他 時間外施錠システム(電気錠)について詳細仕様が提示されておりませんので、今回改修校舎それぞれで単独システム(工学部1,2号館で1システム、理学部1,2,3号館で1システム)と考えますが宜しいでしょうか。	1システムが1箇所です。各棟入口の電気錠を集中して管理することを意味しているのであればご質問の通り工学部・理学部で1システムで結構です。
92	11	第4	1	(1)	6)	設計水準 - その他 時間外施錠システムについて学生証、IDカード等を利用するという記載がされていますが、枚数、仕様等が不明のため、カードの発行は今回事業費に含みませんが宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
93	11	第4	1	(1)	6)	設計水準 - その他 施錠システム(電気錠)とする外部扉の位置をご指示下さい。	関係資料を提示します。
94	11	第4	1	(1)	6)	設計水準 - その他 ゴミを分別した上で仮置するスペースは各階ではなく、1階のみとしてよろしいでしょうか。また、その面積をご指示ください。	各階設置とし工学部1号館及び理学部1・2号館については各階2箇所程度とします。面積は提案によります。
95	11	第4	1	(1)	6)	設計水準 - その他 既設の床下ピットの範囲をご指示ください。	関係資料を提示します。
96	11	第4	1	(2)	1)	屋上防水 屋上防水は10年保証と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
97	11	第4	1	(2)	5)	外部に面するガラス 建具の要求性能(気密性、断熱性、水密性)をご指示下さい。外部ガラスは室の機能上、複層ガラスが必要ないと判断した室(倉庫、階段、室内側に断熱パネルがある恒温室等)は、複層ガラスとしなくともよろしいでしょうか。	アルミニウム製建具の性能については、文部科学省建築改修工事標準仕様書によるA種とします。また、外部ガラスについて将来の室用途変更も考慮し複層ガラスとします。
98	10	第4	1	(1)	6)	空調設備 「各室の空調室外機置き場は各フロア-毎に設置し…」と記載されていますが、工学部2号館においてはベランダを学生等が利用する事が予想されます。空調室外機はバルコニー端部等極力影響の少ない場所に設置すると考えてよろしいですか。また、屋上への設置提案も可能と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。屋上設置提案も可能です。
99	11	第4	1	(1)	6)	設計水準 - その他 既存床下ピットはコンクリートとする、とありますが既存ピットの範囲をご指示下さい。	関係資料を提示します。
100	12	第4	2	(1)		構造仕様 改修後平面図以上の耐力壁を設けず、とありますが改修後平面図における耐震壁位置は黒の太線と考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
101	12	第4	2	(1)	構造仕様	改修後平面図には桁行き方向の補強箇所は指定されていません。桁行き方向の耐震補強となる鉄骨ブレースなどは適宜配置しても良いと考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりですが、外観や室機能を考慮した配置としてください。
102	12	第4	2	(3)	構造仕様	床補強に関する荷重は、改修後平面図の床補強箇所(室または室の一部)に対して、諸室仕様表に記載された特殊荷重+固定荷重とするのでしょうか、室用途に応じた通常の積載荷重もさらに加算するのでしょうか。	資料3「諸室仕様表」に記載の荷重は、特殊荷重に積載荷重を加えた荷重です。従いまして、これに固定荷重を加算する必要があります。
103	12	第4	2	(4)	構造仕様	構造耐震指標について構造耐震指標は学校建築構造設計指針により以下式で求めて宜しいでしょうか。 $I_s = E_o / (F_e s \cdot Z \cdot R_t)$ $q = Q_u / (F_e s \cdot W \cdot Z \cdot R_t \cdot A_i \cdot S_t)$ ここで、Z=0.9(熊本県の地震地域係数)	ご理解のとおりです。
104	12	第4	2	(4)	構造仕様	構造耐震指標 I_s は、適用法令等(建築物の耐震改修の促進に関する法律)および適用基準等(学校建築構造設計指針)により、 $I_s = E_o / (F_e s \cdot Z \cdot R_t)$ として算定すればよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
105	12	第4	2		構造仕様	改修では、内部雑壁を撤去するため、補強後の建物重量は新築時構造計算書に対して、ほとんど増加しないと想定されますが、その場合は、基礎については検討不要と考えてよろしいでしょうか。	安全性の再確認の観点からもご検討をお願いします。
106	13	第5				建築基準法上、学校への非常照明の設置は夜間使用する場合にのみ義務付けられますが、今回計画では建物を夜間使用する為に設置するという考えで宜しいでしょうか。(既存図面(建物)には設置されていません)	基本的には非常照明は必要ないと解します。ただし、事業者の提案において、特定行政庁による指導があった場合や設計時に法上必要である箇所がある場合は、事業者負担で設置願います。
107	13	第5	2	(1)	電灯設備	消防法上、学校への誘導灯の設置は地階、無窓階、11階以上の場合にのみ義務付けられますが、今回計画では建物が無窓階であるために設置するという考えで宜しいでしょうか。(既存図面(建物)には設置されていません)	基本的には誘導灯は必要ないと解します。ただし、事業者の提案において、特定行政庁による指導があった場合や設計時に法上必要である箇所がある場合は、事業者負担で設置願います。
108	13 14	第5	2	(1) (2)	電灯設備 実験電力設備	(2)ではOAフロア一部分に設置するコンセントはレイアウトフリー型OAタップコンセントとされています。これは実験電力設備の項目での要求ですが、他の事務所、研究室、講義室などのOAフロア一部分でのコンセントの形状については要求はありませんでしょうか。あるいは実験室と同様に考えるのでしょうか。(2)の項目は全体の内容からすると実験室に限った要求では無いと思われませんかでしょうか。	OAフロアについては、レイアウトフリー型OAタップコンセントとします。
109	14 15	第5	2	(2) (6)	実験電力設備 情報配線設備	工学部2号館講義室B205にてパソコンが使用できるようにコンセント、情報コンセントを設置する要求があります。これらは机の下ではなく机上での接続を意味しているように思われますが、いかがでしょうか。もし机上での接続を意味する場合、備品と電気工事の取り合い部分をどのように計画するかは機能性、デザイン、コスト等の面で多様であると考えられます。この部分はもう少し詳しい仕様を指示いただくか、事業者が条件を決めて計画するという考え方でよろしいでしょうか。	収容人数が机上でパソコンが使用できるように、事業者が条件を決め計画して結構です。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
110	14	第5	2	(3)	動力設備・幹線	集中検針システムにおいて各分電盤に電力計を設置し電力量の検針を行うことと記載されていますが、動力盤、実験用電灯盤等の計量に関しては記載されておりません。動力盤、実験用電灯盤には電力計を設置せず電力の検針は行わない計画としますが宜しいでしょうか。	動力盤、実験用電灯盤等についても電力計を設置し、電力量の検針を御願います。
111	14	第5	2	(3)	動力設備・幹線	集中検針システムを計画することとなっておりますが詳細仕様が提示されておりませんので、今回工事範囲建物それぞれ単独のシステム(工学部1、1、2号館で1システム、理学部1、2、3号館で1システム)と考えますが宜しいでしょうか。(既存建物で既に集中検針システムが設置されていてもそのシステムとのやり取りはしないという意味です)	ご理解のとおりです。
112	14	第5	2	(3)	動力設備・幹線	集中検針システムの詳細(水、ガスなど)が記されていないので、電力の計量のみの計画としますが宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
113	14	第5	2	(4)	受変電設備	新設する各建物の受変電設備においてVCB遠隔操作、計量及び機器類の故障警報等の集中監視(大学の構内1箇所各建物設備の集中監視)の記載がされておらず資料も提示されておりませんので、受変電設備の遠隔操作、集中監視は行わない計画としますが宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
114	14	第5	2	(4)	受変電設備	受変電設備において既設特高変電所に予備用のVCBを設置することとなっておりますが1回路増設という考えでよろしいでしょうか。また、既存特高変電所の単線結線図、平面図、機器操作、制御設備関連の詳細資料が御座いませんのでご提示ください。	前段については、ご理解のとおりです。後段については、黒髪団地(南地区)構内全体系統図を提示し、ほかの資料は閲覧します。
115	15	第5	2	(6)	情報配線設備 / 資料2 (e) 電話、情報設備	電話、ネットワーク用配線の横引き部分の工事区分は全て事業者と考えてよろしいでしょうか。LANについては「各室端末機設置場所までは…ネットワーク用中継端子盤から端末機配線を布設し情報コンセントを設置する」とございますので、情報コンセントまでの全ての配線が本工事に含まれると思われませんがよろしいでしょうか。また、電話配線については系統図は提示されていますが、アウトレットまでの配線が本工事に含まれるのか明記されていません。対応方法をご教示ください。	第1文については、ご理解のとおりです。第2文については、ご理解のとおりです。第3文の電話配線については、アウトレットまでの配線工事も本事業に含みます。
116	15	第5	2	(7)	拡声設備	放送設備について既存他校舎との連携について記述されていませんので、今回設置する放送設備はそれぞれの校舎単独システム(工学部1、2号館で1システム、理学部1、2、3号館で1システム)で計画しますが宜しいでしょうか。(既存他校舎とのやり取りは無しという意味です)	ご理解のとおりです。
117	15	第5	2	(7)	拡声設備	消防法上、非常放送設備は収用人員800名以上で設置する義務がありますが、今回工事範囲の各校舎の収用人員は800名を超えるでしょうか。下記のそれぞれの校舎での収用人員をご提示願います。1) 工学部1号館2) 工学部2号館3) 理学部1号館4) 理学部2号館5) 理学部3号館、4号館 理学部4号館に関しましては理学部3号館と接続されているため収用人員をご提示願います。	収用人員は以下のとおりです。 工学部1号館 1010名 工学部2号館 1408名 理学部1・2号館 828名 理学部3・4号館 280名

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
118	15	第5	2	(9)	火災報知・防火防排煙設備 / インフラ計画図 図面2-3	工学部1号館防災室に黒髪南地区の建物の棟代表信号を表示するよう記載されていますが、表示が必要な棟名をご教示ください。また、今回の改修対象範囲はインフラ計画図(屋外火災報知設備(案))に明示されている共同溝内ラック上配線及び今回改修計画建物関連のみとし、改修非対象の建物に関わる部分、工学部研究棟中継器盤増設及び共同溝内から事務局本館等への配線は別途大学側工事と考えてよろしいですか。	前段については、表示が必要な棟名は事務局本館、工学部研究資料館、工学部研究棟、部研究棟 ー2、総合研究棟・工学部記念館、情報処理センター、研究実験棟、ベンチャーラボ 衝撃極限環境研究実験棟、R1実験棟、工学研究機器センター、水理実験棟、南地区福利施設、自然科学研究科研究棟、理学部1・2号館、自然科学研究科理学部研究棟、理学部3・4号館、工学部研究棟、工学部9号館、旧工学部3号館、工学部8号館、総合情報基盤センター、共同製図室です。 後段については、改修非対象の建物に関わる部分の配線工事等も本事業に含まれます。
119	15	第5	2	(9)	火災報知設備・防火防排煙設備	火災報知設備について理学部1・2号館及び工学部1号館に主受信機を設置することとなっておりますが、理学部3号館は理学部1・2号館の受信機に取り込む計画としますが宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
120	16	第5	3	(2)	換気設備	スクラパー等排ガス除去装置の除去すべきガス種別、対象範囲など仕様が不明です、ご教示ください。	備品計画表のドラフトチャンパー(メーカー・型式記入)は、特定化学物質障害予防規則に定められた除去すべく排ガスに対応したドラフトチャンパーを使用者が選定された物です。型式等にて使用薬品を想定してください。スクラパ以外のドラフトチャンパーは、有機溶媒の使用となりますが使用量によっては、大気汚染防止法に基づき排ガス処理をおこなうこともあります。対象範囲は、資料4「備品計画表」でドラフトチャンパーが記入してある居室です。
121	16	第5	3	(2)	換気設備	空調換気扇(全熱交換機)の採用により、空調負荷の抑制を図ると記載されていますが、空調換気扇の採用場所はライフサイクルコスト等を考慮し、事業者の提案によるものと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
122	16	第5	3	(3)	排煙設備	排煙設備を建築基準法に基づき設置するとありますが、基準法上は設置不要です。設置根拠を ご教示ください。	法的に問題なければ設置不要です。
123	16	第5	3	(3)	排煙設備	当建物は建築基準法施行令第126条の2の学校に該当するため、排煙設備は不要を考えるとよろしいでしょうか。	法的に問題なければ設置不要です。
124	16	第5	3	(4)	自動制御装置	空調設備系統及び衛生設備系統の制御の範囲は、各学部毎に主要機器のスケジュール発停としてよろしいですか また対象機器と管理予定場所を ご教示ください。	スケジュール発停は不要です。空調スイッチは各居室に設置しデマンド対策を考慮して、防災室等に空調用集中リモコン(ON/OFF)を各建物毎設置(特殊空調室を除く)するものとします。一般空調、換気の警報は不要とします。また、衛生につきましてはポンプ、水槽等の警報、低温室等閉じ込め警報等、EVインターホンを考えております。管理予定場所は、施設設計要求書P16の(4)自動制御設備に記載した部屋とします。
125	16	第5	3	(4)	自動制御装置	警報盤は 理学部、工学部各々の防災室に設置するとありますが、各々対象範囲分のみ表示としてよろしいですか ご教示ください。	ご理解のとおりです。
126	16	第5	3	(4)	自動制御設備	理学部及び工学部の防災室に設備異常の監視盤が設置されますが、平日夜間並びに日、祝祭日時の昼夜監視は警備会社に対応するものと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
127	16	第5	3	(4)	自動制御設備	空調、換気スイッチは各居室毎に設置し、防災室等での一括制御は不要と考えてよろしいですか。また、一般の空調、換気設備の警報監視は不要と考えてよろしいですか。	前段の空調、換気スイッチは、各居室に設置し、デマンド対策を考慮して防災室等に空調用集中リモコン(ON/OFF)を各建物毎設置(特殊空調室を除く)するものとなります。 後段の一般空調、換気の警報は不要とします。
128	16	第5	3	(4)	自動制御設備	空調及び衛生設備の警報盤を設置するよう記載されていますが、工事期間中の仮設対応は不要と考えてよろしいでしょうか。仮設対応が必要な場合は警報監視項目、設置場所等をご教示ください。	工事期間中の仮設対応は必要です。平成16年6月1日公表の施設設計要求書(案)等に関する質問回答集No. 44をご参照下さい。設置場所については提案によります。
129	16	第5	3	(6)	給排水設備	水道(市水)は 供給本管直結とありますが 構内供給本管は受水槽を経由した設備であり実験装置への直接接続が可能であるとしてよろしいですか、 また停電などによる停止が無い供給設備と考えてよろしいですか ご教示ください。	市水の建物引き込みが市水管直結であり、理学部1・2号館内に受水槽・加圧ポンプを設置し、実験装置へ供給します。また、理学部3・4号館へも加圧ポンプより供給予定です。理学部1・2・3号館給水設備仮設供給系統図(図面21、図面24)に記入漏れです。
130	17	第5	3	(6)	給水設備	上水道(井水)は 高置水槽の容量は系統図に記載がりましたが、容量の算定根拠及び加圧ポンプの仕様(揚水水量)をご教示ください。	水槽容量・ポンプ仕様は、資料3「諸室仕様表」、資料4「備品計画表」により想定してください。
131	17	第5	3	(6)	給水設備	井水は加圧ポンプ及び高置水槽を設置して重力式にて供給するとなっておりますが、高置水槽設置場所の指定がありましたらご教示ください。	工事工程、構造等を考慮した上で、提案して下さい。
132	17	第5	3	(6)	給水設備 / 給水設備仮設供給系統図(案) 図面18、21	図示されている水槽容量は有効容量と考えてよろしいですか。	ご理解のとおりです。
133	17	第5	3	(7)	排水設備	実験系排水の 水質項目及び異常警報表示場所が不明です、ご教示ください。	排水モニタリング水槽のPH濃度を監視し、異常発生時に警報を理学部1・2号館防災監視室にだし、工学部防災室に移報します。
134	17	第5	3	(9)	消火設備	危険物関連の備品に対し消火設備が必要な場合は大学負担と考えます。事業者負担の場合は、消火設備の具体的な内容をご教示ください。	ご理解のとおりです。大学が負担します。
135	17	第5	3			増築に伴い 敷地全体での防火水槽の増設が見込まれる場合は、ご教示ください。	今回の増築に伴い、防火水槽は不要です。
136	17	第5	3	(11)	特殊ガス設備	特殊ガス設備の詳細な仕様(供給量、圧力など)が不明です、また窒素ガス、ヘリウムガス以外の種類も備品計画表に記載がありますが 合わせて ご教示ください。	本工事は、ヘリウム回収配管と窒素ガス配管とします。それ以外の特殊ガスは、ボンベ持ち込みです。窒素ガスの使用量は0.005m ³ /日、供給圧は5kg/cm ² です。ヘリウム回収配管は25A(バルブ止め)で、既設ヘリウム棟内の装置にて回収するものです。
137	18	第6	3		理学部1・2号館	適用法令にハートビル法が記載されており、法に準拠するとエレベーターのかご床面積は基礎的基準で1.83m ² 以上、誘導的基準で2.09m ² 以上となります。理学部1・2号館の「既存エレベーターの内部機器は再利用も可」となっておりますが床面積は1.54m ² しかありません。この場合、既存エレベーターの再利用は可能なのでしょうか。また、エレベーターを新設する場合は基礎的基準で計画しますが宜しいでしょうか。	前段は、新設します。 後段は、ご理解のとおりです。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答	
138	19	第6	4		理学部3号館	理学部3号館の屋外階段の拡幅寸法をご指示ください。	1.5mとします。	
139	19	第7	1	(1)	業務	本計画は改修工事であるため、新たに電波障害が発生しないと考え、電波障害の事前調査、改善工事はないものと考えてよろしいでしょうか。	平成16年6月1日公表の施設設計要求書(案)等に関する質問回答集No.55をご参照下さい。	
140	20	第7	1	(3)	4)	図面(建築構造)	設計図書の提出のなかで各階伏図、断面リストとありますが、既存構造図で使用できるものはこれに代えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
141						今回消防設備にて屋内消火栓を設置しますが、非常用電源設備としては非常電源専用受電設備での計画とし非常用発電機は設置しませんか宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。	
142	資料1	補修要領・数量一覧	P1	1-1	1)	ひび割れ	ひび割れ補修において、柱および梁は対象箇所に入っておりません。よって、範囲外と考えて宜しいでしょうか。	資料1の内部補修集計表のひび割れ(躯体)集計に含んでいます。
143	資料1	補修要領・数量一覧	P2	1-2	6)	梁貫通部跡補修	貫通部跡補修の貫通径と個数、または梁貫通径、位置が判断出来る図面のご提示をお願いします。	有料にて購入して頂きました関連資料の設計図面により判断をお願いします。
144	資料1	補修要領・数量一覧	P3			内部補修集計表	梁下断面欠損とはスターラップ鉄筋が露出する程度のコンクリート欠損と考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
145	資料1	補修要領・数量一覧	P4			外部補修集計表	外部集計表の断面欠損はどういうものを示すのかご提示下さい。	「断面欠損」を「仕上欠損」に訂正します。状態は表面の仕上材の欠損であり、躯体の欠損ではありません。
146	資料2	諸室仕様表・備品計画表の凡例等	(a)			一般事項	床荷重に関する記述で、『実状に応じて若干の変更の可能性がある』とありますが、どの程度の変更でしょうか。	事業者との協議とします。
147	資料2	諸室仕様表・備品計画表の凡例等	(b)			建築関係	OAフロアの仕様、耐荷重、高さ寸法をご指示下さい。	材質はスチール・無機質系等のリサイクル可能な独立脚方式の製品とし、耐荷重3,000N(A202室については5,000N)、高さ70mm(A202～203、211室については100mm)とします。
148	資料2	諸室仕様表・備品計画表の凡例等	(b)			建築関係	防水の仕様はビニル床シート 溶接工法と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
149	資料2	諸室仕様表・備品計画表の凡例等	(c)			電源設備	停電対応で「移動電源車など」という記載がありますが、移動電源車の工事区分は大学側と考えますが宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
150	資料2	諸室仕様表・備品計画表の凡例等	(i) (j)			給排水衛生設備 特殊設備	「給排水設備」「特殊設備」の中で、実験系排水と特殊排水は同一の内容を示し、給排水の数字との比較で多い場合は余分に特殊排水が必要になることを示しているのですか、ご教示ください。	ご理解のとおりです。
151	資料2	諸室仕様表・備品計画表の凡例等	(k)			室内環境	「室内環境」の中で示された内容は、諸室仕様表の「特殊空調」で示される記号に対応していますが、また各記号の詳細内容が不明です(例えば クリーンルームの諸条件)、ご教示ください。	凡例は諸室仕様表に対応しています。また、空調条件等は、別紙にて提示します。
152	資料2 資料3	諸室仕様表 備品計画表				給湯設備	諸室仕様表、備品計画表によると、給湯はガス式となっておりますが、使用場所によっては安全性等考慮して電気式の提案は可能でしょうか。	イニシャル、ランニング・安全性及びデマンド等十分考慮の上検討された結果、提案により変更は可能な場合があります。
153	資料3	諸室仕様表				理1・2-1	実験室(10)C131安全シャワーの仕様及び箇所数をご指示ください。	一般にいう緊急シャワーのことで、2箇所設置します。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
154	資料3	諸室仕様表			理1・2-1	実験室(11) C133ラックの仕様をご指示ください。	「機能・特殊条件」の欄から「ラック」を削除します。
155	資料3	諸室仕様表			理1・2-1	共通学科事務室C111既設メールボックスの仕様をご指示ください。	別紙既設メールボックス詳細図をご参照ください。
156	資料3	諸室仕様表			理1・2-1	機器分析器C130(シールド室)内装について耐薬品性、帯電防止性等特殊機能が必要ですか。ご指示ください。	耐薬品性を必要とします。
157	資料3	諸室仕様表			理1・2-1	実験室(7) C127A恒温室の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
158	資料3	諸室仕様表			理1・2-3	実験室(3) C203低温室の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
159	資料3	諸室仕様表			理1・2-3	実験室(18) C238全外気空調の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
160	資料3	諸室仕様表			理1・2-3	測定室(2) C236恒温恒湿環境の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
161	資料3	諸室仕様表			理1・2-4	微化石観察室C229恒温室の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
162	資料3	諸室仕様表			理1・2-4	酸処理室C232全外気空調の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
163	資料3	諸室仕様表			理1・2-4	恒温室C208の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
164	資料3	諸室仕様表			理1・2-4	低温室C209の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
165	資料3	諸室仕様表			理1・2-5	実験室(13) C328ケミカルハザード室の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
166	資料3	諸室仕様表			理1・2-5	実験室(19) C340恒温恒湿環境室の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
167	資料3	諸室仕様表			理1・2-6	測定室(2) C351恒温室の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
168	資料3	諸室仕様表			理1・2-6	細胞培養室C308クリーンルーム、恒温恒湿環境室、バイオハザード室の範囲、面積、仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
169	資料3	諸室仕様表			理1・2-6	低温室C311の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
170	資料3	諸室仕様表			理1・2-7	準備室C403の全外気空調室の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
171	資料3	諸室仕様表			理1・2-7	クリーンルームC402の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
172	資料3	諸室仕様表			理3-1	実験室(6) D106シールドルームの仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件およびホイストレールの範囲をご指示ください。	シールドルームの仕様は資料2 (k) 室内環境を参照してください。空調条件は別紙にて提示します。ホイストレールの長さは5mとします。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
173	資料3	諸室仕様表			理3-1	実験室(1)D101のラックの仕様をご指示ください。	「機能・特殊条件」の欄から「ラック」を削除します。
174	資料3	諸室仕様表			理3-3	実験室(3)D309恒温室の仕様、空調条件、断熱等の性能の数値的要求条件をご指示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
175	資料3	諸室仕様表			理学部1・2、3号館	電話、TV、LANの項目について設置の有無については 印にて表記されていますが、箇所数については記載されておられませんので、各室の設置個数について御指示ください。	改訂版に数量を記入しました。数量は現在想定している数量です。ご参照下さい。
176	資料3	諸室仕様表				内部壁、可動間仕切壁、防音間仕切壁の遮音要求性能をご指示ください。	「建築物の遮音性能基準」(日本建築学会)の1級を基準としてください。防音間仕切壁については35db以上の減衰性能としてください。
177	資料3	諸室仕様表			空調設備	特殊空調が要求されている室の温湿度条件等具体的な仕様等をご教示ください。	空調条件は別紙にて提示します。
178	資料3	諸室仕様表			空調設備 換気設備	諸室仕様表に使用人数が通常、最大及び夜間で明示されていますが、通常の使用人数で空調、換気の設計を行なうと考えてよろしいですか。	ご理解のとおりです。
179	資料3	諸室仕様表			床補強	床補強が必要な諸室の特殊荷重は資料4の備品計画表に示されている機器の荷重を含んでいると考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
180	資料3 資料4	諸室仕様表・備品計画表 諸室仕様表			諸室仕様表-工 1-1 備品計画表-工 1-2	工学部1号館A102、A114の室名が、添付資料5の改修後平面図の室名と異なります。改修後平面図のA102とA114の室名が逆ということでしょうか。	諸室仕様表・備品計画表の室名を以下に訂正します。 A102 理・工・自総務系・学術支援事務室 A114 理・工・自教務系事務室
181	資料3 資料4	諸室仕様表・備品計画表 諸室仕様表			諸室仕様表-工 1-1 備品計画表-工 1-2、3	工学部1号館A102、A119は、資料3では床補強(金庫)となっていますが、金庫の位置、重量が不明です。どのように想定すれば良いでしょうか。	金庫1箇所当たり1㎡程度の補強であり、設置する部分のOAフロアー独立脚の追加補強(8箇所/㎡程度)をお願いします。
182	資料3 資料4	諸室仕様表・備品計画表 諸室仕様表			諸室仕様表-工 1-5 備品計画表-工 1-28	工学部1号館5階資料室(2)の特殊荷重は、12kN/m2となっていますが、設置される機器の設置範囲での単位重量でも4kN/m2程度しかありません。他に設置される機器等があるのでしょうか。	可動書架を設置しますので、積載荷重として12kN/㎡としています。
183	資料4	備品計画表				大型機器の設置方法が不明です。特に既存品(例えば電磁石)については詳細な内容を ご教示ください。	既存品の設置は大学が行います。なお、既設電磁石についてはあと施工アンカーにて固定しております。
184	資料4	備品計画表				排気量が不明です。特に既存品については詳細な内容を ご教示ください。	1.ドラフトチャンバーは、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則に基づき排気量を算出してください。 2. 機器排熱は、記載無き場合消費電力より算出し、天がいの場合として所用風量を算出してください。 3. 装置等の排気量は10m3/h程度とします。記載無き排気量は、部屋の用途や機器名称等で想定してください。 4. 室と表示の場合は部屋全体換気として考慮することを示します。
185	資料4	備品計画表			停電対策	備品計画表において各機器の停電対応(移動電源車などによる)の記載はありませんが、特殊空調対応の室(クリーンルーム、恒温室、低温室等)の空調機、照明、コンセント等の停電時対策の記述がありませんので、バックアップ電源対応は行わない計画としますが宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
186	資料4 備品計画表				理学部1・2、3号館	備品リストに実験盤の記載がありますが、実験装置に付属している盤と考えると今回の事業費に含まないと考えて宜しいでしょうか。	実験盤の設置は、本事業に含まれます。
187	資料4 備品計画表					現有の機器は再利用するものと考えてよろしいでしょうか。一時移動、保管、再据付、運転調整の作業・費用は大学側責任・負担と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
188	資料4 備品計画表				理3-5	実験室(6)の流し台の調達者が不明です。ご指示下さい。	新規とし事業者の調達といたします。
189	資料5 既存備品撤去一覧表					今回新たに追加された項目の現地確認のため、現地調査を実施したいのですが、可能でしょうか。日時ご指示ください。	見学会を行う予定です。詳細については、別紙をご参照下さい。
190	図2-3 インフラ計画図(屋外火災報知設備(案)) [改定]					インフラ計画図面-2-3の凡例の「火報HP1.2-5P ラック上 1600m」とは各棟の受信機それぞれから工学部1号館の受信機へ配線したケーブルの全長と考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
191	面2-1 インフラ計画図(屋外電力(案)) [改定]					理学部の高圧引き込み工事は、概要書では特高変電所からの直接引き込みとなっておりますが、図面2-1及び図面13-2では理学部2号館変電設備からの高圧分岐により理学部3号館への高圧引き込みとなっております。どちらが正と考えれば宜しいでしょうか。	理学部2号館電気室から理学部3号館電気室へ高圧引き込みを行います。
192	図面6-1 インフラ現状図[給水設備]				給水設備	工学部1号館建物内に屋外給水管(井水)がありますが今回の改修対象外と考えてよろしいですか。改修が必要な場合は具体的な内容をご教示ください。	ご理解のとおりです。
193	図面6-4 / 図面20 インフラ現状図[消火設備] / 工学部1号館消火設備仮設供給系統図(案)				消火設備	屋内消火栓配管と連結送水管の兼用配管等については所轄消防署と協議済と考えてよろしいですか。協議未済の場合は事業者側にて所轄消防署と打合せしてよろしいでしょうか。また、2号館の消火配管は1号館からの分岐となっておりますが、昭和54年度の改修図によると3号館からの分岐となっております。インフラ現状図[消火設備]図面6-4を優先と考えてよろしいですか。	現況をそのまま記載したもので、屋内消火栓と連結送水管は単独配管とします。所轄消防署と事業者において協議し、兼用配管で良いと判断された場合、採用してもよいです。工学部2号館の消火配管は、平成10年に図面6-4のとおり改修しております。
194	図面8 支障樹木等一覧表(案)					既存樹木の撤去、一部移植は大学側責任・費用で実施すると考えてよろしいでしょうか。事業者側で既存樹木を移植したとして、樹木が枯れた場合の責任が不明確なため、大学側の責任・費用にて実施すると考えてよろしいでしょうか。また、植栽・外構提案の内容によっては、現状のまま樹木を残す提案も可能と思われるますが、既存を残す計画を提案してもよろしいでしょうか。	第1文は、既存樹木の撤去、一部移植は、本事業に含むものとし事業者が行います。 第2文は、1年以内に枯れた場合は伐採・除根の上埋戻しを行うものとします。 第3文は、樹木を残した提案も可と思いますが、その場合残す樹木等について大学と協議を行うものとします。
195	図面19 / 資料3.4 工学部1号館ガス設備仮設供給系統図(案) / 諸室仕様表・備品計画表				ガス設備	工学部1号館ガス設備仮設供給系統図(案)において2号館へのガス配管を行なうよう記載されていますが、2号館諸室仕様表及び備品計画表に都市ガスの要求がありません。2号館へのガス供給は不要と考えてよろしいですか。	ご理解のとおりです。
196	図面21 理学部1・2号館給水設備仮設供給系統図(案)					加圧ポンプの設置位置はピット内ですか、ご教示ください。	1階ポンプ室に設置してください。

<別添資料3 施設設計要求書>

頁 No.	大項目	中項目	小項目	細項目	項目	質問事項	回答
197	図面 25 理学部3号館ガス設備仮設供給系統図(案)					理学部4号館にガス立配管(サイズ不明)が示されていますが、工事対象建物ではなく事業者工事範囲外としますが、ご教示ください。	ガス立配管(50A)は、本工事の範囲とします。
198	図面 26 理学部3号館消火設備仮設供給系統図					消火用補助水槽が設置されていますが、1号館側にも設置されていますので根拠をご教示ください。	理学部1号館又は3号館どちらか1箇所に、消火用補助水槽を設置してください。
199						一般的な備品と付帯設備で各々の具体的な対象範囲、区分が不明です、ご教示ください。	一般的な備品と付帯設備の対象範囲は別添資料1「業務範囲一覧表」を参照し、区分の詳細については資料4「備品計画表」を参照下さい。